



みなくるだより

No.69

令和7年秋号

4月 今年こそ!!
片づけたい人集まれ



まちの楽校
たくさんの方が来校しました



5月 日本の伝統食、
発酵食品を学ぶ

6月 夏の食養生
～ゆるっと未病ケア～

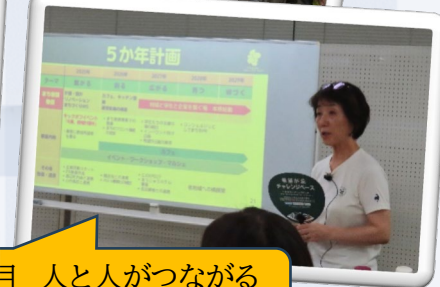


8月 世界に一つだけの
エシカルリップグロスづくり

これからの予定は
裏面を見てね



7月 人と人がつながる
カフェってどんなところ？



あさひの地域人 (ちいきびと) に聞く Vol.10

あさひの地域人(ちいきびと)第10回はTeam Bloomのお二人です

旭区でイキイキと活躍する
「地域人(ちいきびと)」を紹介します。



うえだ 上田よう子さん
あさみ なおこ 阿左美直子さん
チーム ブルーム
「Team Bloom」

「40年前の若葉台は、子どもの姿も多く見られ、商店街を中心として活気に溢れた街でした。」と話始めた上田さん。当時の賑わいに比べて人通りが少なくなった静けさが寂しくて、どうにかしたいと思っていたそうです。そんなとき若葉台についての意見交換会があり、そこに参加しました。

以前、【オフィス&ダイニング春】という場所があり、上田さんはイベント講師としてベビーマッサージや絵の具の教室等で子育て支援の活動をしていました。しかしその場所が閉店となって自分の活動ができなくなってしまい、どうしようかと落ち込んでいたところ、その集まり(若葉台についての意見交換会)の話を耳にし、参加してみようと思いました。そこで阿左美さんと出会い、今では一番の仲の良い友人になっています。今の若葉台のためにどうしたらよいかと模索した中で、商店街を盛り上げるには、まず人が集まり笑顔が生まれる場所を作ろう！とフリマのイベント開催をすることになり、そこからTeam Bloomの活動が始まりました。

活動初期はなかなか地域の方々の信用を得ることができず、企画をプレゼンしても通らない試練が続きました。一年ほどかけてだんだんと理解してくださる方々が増え、若葉台の商店街を歩いていると声をかけてもらえるようになりました。

先日開催したイベントはフリマ等の出店希望者を募り、念願のキッチンカーを呼ぶという企画をクリアし、お天気にも味方され大成功に終わりました。地域の方々にも「開催おめでとう」と声をかけられ「ありがとうございます！」といった微笑ましいやりとりもありました。

Team Bloomの魅力は何と言っても阿左美さんがメンバーでもある宅和さんと共に日々チームで担当しているインスタです。阿左美さんは初心者なのでまだまだ…と謙遜されていますが、拝見してみると動画はもちろんのこと、他にもいろいろと勉強された成果が伺われ、今後の投稿も楽しみです。この1年ちょっとの間にイベントをこなしてきて、いろいろなノウハウが身に付いたので、若い世代にも伝えて行きたいし、新しい自分の居場所を大事にしていきたいと笑顔で話していました。

みなくるだよりは地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウス、図書館や旭区内の駅のPRボックスで配布中

お問合せ:旭区市民活動支援センター「みなくる」
TEL045-382-1000 FAX045-382-1005



ホームページ

みなくる

検索

「まちの楽校」

今後の予定

11/25(火) 冬の食養生
12/23(火) 人生を豊かに
令和8年
1/27(火) 参加者交流会
2/24(火) 春の食養生
各日18:30~20:00

リーフレットが 新しくなりました



あさひのつながり応援補助金

活動始めるあなたを応援します！

申請は12/19締め切りとなっています。

- 旭区内で活動する2人以上のグループ
- 概ね1年以内に開始した活動または
令和8年1月までに開始する活動
- だれでも参加できる地域に開かれた活動
- 申請書提出前に対面でのヒアリングが必須



旭区地域活動団体の紹介

旭ピクルス ～ピックルボールで広がる人の輪～



★★★★今回はあさひのつながり応援補助金交付団体の取材に旭区区民ライターさんが協力してくださいました★★★★



週に3日、旭中学校の体育館にて活動している「旭ピクルス」。

ピックルボールは60年ほど前にアメリカで考案され、現在は世界中で人気が高まっているスポーツです。テニスや卓球に似た要素があり、とても親しみやすいのが特徴で、日本でも愛好者が増えています。

代表の成田さんは偶然このスポーツを知り、その魅力に夢中になったそうです。「アットホームに楽しむのにぴったり」と考え、仲間を募って団体を設立。1年前に「旭ピクルス」が誕生しました。

活動には毎回20人ほどが参加し、幅広い世代でにぎわいます。この日最年長の参加者は79歳。「ここに来るのが毎回楽しみ」と笑顔で楽しんでおられました。他にも「同じ趣味で人とのつながりができて嬉しい」との声も多く、和やかな雰囲気印象的でした。



実際に体験してみると、打ち返すのがいっぱいいっぱいでも普段の運動不足を痛感しましたが、軽いラケット(正式名称パドル)と扱いやすいボールのおかげで初心者でもすぐにプレイ可能であると認識。打ち返す音の爽快感はクセになるほどで、体を動かす機会が少ない人でも楽しく汗を流せると感じました。

また「旭ピクルス」は、旭区の「あさひのつながり応援補助金」交付団体として地域交流や体験会なども行っています。年に一度の餅つき大会では地域の子どもたちも加わって大いに盛り上がり、地域のつながりづくりに大きく貢献しています。こうした取り組みから、ピックルボールを始める小中学生も増えてきています。

成田さんは「今の中学校にはピックルボールの部活動は在りませんが、この先部活動が出来て、メジャーな競技としていつの日か旭区からオリンピック選手がでてくれれば…」と。想像すると楽しみになってきますね。

「活動を通じて多くの方と知り合い、皆さんに喜んでもらえるのがとても嬉しい」と、成田さん。世代を問わず楽しめるピックルボールは、地域に新しい交流を生み出しています。

ホームページ

旭区 補助金

検索

あさひ魅力発信サイト

検索

発行:旭区市民活動支援センター「みなくる」

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-82-1 ココロット鶴ヶ峰4階
TEL 045-382-1000 FAX 045-382-1005
E-mail as-manabi@city.yokohama.lg.jp
休館日 毎月第1、3水曜日・年末年始



ホームページ

みなくる

検索